

ホーム > 地域 > 兵庫 > ニュース

兵庫のニュース > 兵庫の企画・連載 > 兵庫の観光特集 > 地域コーナートップ >

営業トーク 腕前競って

2023/07/27 05:00

この記事をストックする

熱意や礼節審査 志望者掘り起こし狙い

セールスマンが2分間の営業トークを競う大会が8月に神戸市内で開かれる。主催するのは兵庫区の機械工具商社「吉岡興業」。営業職の魅力発信し、営業職志望者の掘り起こしにつなげる狙いがある。吉岡洋明社長（54）は「営業職の面白さを伝えるきっかけにし、日本のものづくりに貢献したい」と語る。（大田魁人）



「大会を通して営業の魅力伝えたい」と意気込む吉岡社長（神戸市兵庫区で）



[PR]

兵庫の機械工具商社、8月大会

同社は1951年に吉岡社長の祖父が創業し、56年に現在の社名となった。工作機械メーカーの製品の販売や設置、メンテナンス工事などを担う。3代目の吉岡社長は大学卒業後、別の会社で10年間働いてから入社した。

2010年に社長に就任するまでは営業畑を歩いてきた。その中で、「相手の課題について仮説を立て、具体的に質問する」「課題を解決できる商品を紹介しつつ、相手の反応を観察する」「その場で次の商談の日程を組む」など、営業のコツを学んできた。

「営業トークでいかに相手を引きつけるか。私たちが商品を通してメーカーの利益につながり、日本のものづくりのレベルも向上する」と営業職の重要性を語る。社長になった今も、社員に技術を伝えるのはそのためだ。

だが、5年ほど前から状況に変化が見られるようになった。営業職の希望者が減り始めているという。そこで、プロの営業トークを披露し、わかりやすさや面白さを知ってもらい、営業職への関心を高めようと、大会を思いついた。

同業他社にも声をかけ、高知県や群馬県、大阪府などから10人以上の出場者が集まった。現在も同業種の企業からのみ出場者を募集しており、メール(ito_s@yoshiokakogyo.co.jp)で申し込みを受け付けている。

大会は8月11日午後1～4時、神戸市兵庫区駅前通の同社で開催予定で、トーナメント方式で対戦。出場者はものづくり企業向けに「脱炭素」や「生産性向上」をテーマに2分間の営業トークを披露し、「熱意」や「礼節」などを基準に審査員が20点満点で採点。最優秀賞などを決める。

運営費などはクラウドファンディング（CF）も活用しており、今月31日まで、CFサイト「CAMPFIRE」＝QRコード＝で支援を募っている。支援者には金額に応じて大会の様子を収録したDVDなどを贈る。大会は今後も継続して行う意向で、吉岡社長は「営業は常に最先端の技術を理解し、魅力を伝えなければいけない。大会を恒例化させ、業界全体を盛り上げたい」と意気込んでいる。

➔ 兵庫の最新ニュースと話題

読売新聞の新常識 お申し込みはこちら

新聞も デジタルも おトクも
全部合わせて 朝刊発行地域 4,400円/月(税込)
朝刊のみ発行地域 3,400円/月(税込)

注目情報

統計から見たコロナ後
「アフターコロナ」で旅行・観光はどこまで回復した？

【特集】中央大学
村上春樹『街とその不確かな壁』が描くもの

ランキング

- ノルマと強権的人事、ビッグモーター社員が感じがらぬ...工場長からヒラ社員に降格処分
- ススキノ切断遺体、ホテルから鑑容者の指紋検出されず...痕跡残さないよう入念に計画か
- 外相解任された栗原氏の活動記録削除、中国が異例の措置...「異常なほどの秘密主義」浮き彫り
- 首都高「ルーレット族」か、未明の都心環状線を平均時速108キロ走行...男1人は「覚えていない」
- 盤上のロマンチスト、リアリストに屈す...ランキング戦2組決勝 佐藤康光九段×豊島将之九段

読売新聞オンラインからのお知らせ

- 偽のサイト、メールにご注意ください
- 社会部への情報提供はこちら
皆様からの情報をお待ちしています
- 【随時更新】夏の甲子園 地方大会の組み合わせ
全国への切符をつかむのはどの高校か
- 読んだマークが表示されます 6ページでポイント
読んだらポイントマラソン
- 平成の芥川賞・直木賞 報道記録
送還する女性作家たち 電子書籍で発売

